

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業
(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー研究分野)
分担研究報告書

相模原市におけるアレルギー性疾患コホート調査

研究分担者 食物アレルギー調査グループ

海老澤 元宏 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター アレルギー性疾患研究部長

研究協力者 杉崎 千鶴子 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター アレルギー性疾患研究部

研究要旨

相模原市の乳幼児を対象に 12 年前に実施した乳児湿疹、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎等の経年的な調査の再調査を行い、12 年間の各アレルギー疾患の状況の変化をみることを目的とする。今年度は 4 か月児、8 か月児、1 歳児の調査を前提に準備を進め、2014 年 1 月から 4 か月健診受診者に対して調査を開始した。4 か月児の調査は 2014 年 12 月まで実施予定である。対象者にはその後 8 か月時と 1 歳時に追跡調査を行う。

A. 研究目的

2002 年 1 月から 12 月に相模原市の 4 か月健診を受診した児を対象に、4 か月健診時、8 か月時、1 歳時、3 歳時、5 歳時、7 歳時にアレルギー性疾患に関するアンケート調査を行った。当時は国内で食物アレルギーの罹患率の正確なデータがなかったが、我々の調査により乳児期の罹患率は約 10%であることが明らかになった。今回同様の調査を行い、前回調査結果と比較することで 12 年間での状況の変化をみることを目的とする。

B. 研究方法

2014 年 1 月から 12 月までの 1 年間に相模原市の協力の下、相模原市の 4 か月健診の会場において、乳児の保護者の中で同意を得られた方を対象として栄養状況・湿疹の状態・食物除去の有無・医療機関受診状況・アレルギー検査に関してアンケート調査する。調査に関する説明文書と調査票は相模原市から健診票と共に発送され、4 か月健診の会場において調査員が回収し、対象者にはそ

の後 8 か月時と 1 歳時に追跡調査を行う予定である。4 か月健診における調査は基本項目と乳児湿疹を有する時の割合を明らかにすることを主目的に実施する。調査項目を次頁に示す。2002 年の調査と比較できるようにほぼ踏襲した内容とした。

C. 研究結果

相模原市の人口は約 72 万人、2012 年の年間出生数は 5,843 人であり、国内の出生数の約 0.6%に相当する。

今年度は、1 月からの実施する 4 か月時の調査について調査票や調査方法を相模原市健康企画局保健所と協議し決定した。国立病院機構相模原病院の倫理委員会の承認を 2013 年 12 月に受けた後に調査を開始した。

調査を 2014 年 1 月から開始し、1 月度の健康診査受診者 498 名に対して 378 名分の調査票を回収した(回収率 75.8%)。2014 年 12 月まで健診会場での調査票回収を続ける。

4 か月時調査項目

1) お子さんにかゆみをともなった湿疹はありますか？

その湿疹はどのくらい続いていますか？

どこにその湿疹はできていますか？

その湿疹に関して医療機関を受診しましたか？

-1 どの科にかかりましたか？

-2 その結果はいかがでしたか？

-3 どの検査を受けましたか？

-4 陽性と判断された原因物質はどれでしたか？

2) お子さんの栄養は、生後から現在まで次のうちどれにあてはまりますか？

母乳栄養のみ / 人工栄養のみ / 混合栄養(母乳と人工栄養の両方使用した)

お子さんの現在のアトピー性皮膚炎または食物アレルギーのためにお母さんが除去している食物はありますか？

-1 どの食物を除去していますか？

-2 どなたの判断で食物を除去していますか？

特殊ミルクを使っていますか？

-1 使用しているミルクの名前に をつけてください。

-2 どなたの判断で使用していますか？

3) ご家族でアレルギー性疾患(喘息・アレルギー性鼻炎(花粉症も含む)・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー)をお持ちの方はいらっしゃいますか？

4) ご自宅に同居している方でタバコを吸う方はいらっしゃいますか？

5) ご自宅またはご実家でペット(イヌまたはネコ)を飼っていますか？

6) お子さんは何番目のお子さんですか？

7) 本日のお子さんの体重と身長をご記入下さい。

D. 考察, E. 結論

前回の調査の回収率 88.3% (5239/5,932 名) と比較すると低率であるが、個人情報保護法施行(2003年)等、時代背景の変化が一因と考えられる。

次年度以降は集積した調査結果を解析し過去のデータと比較して報告する。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1) Ebisawa M, Brostedt P, Sjölander S, Sato S, Borres MP, Ito K. Gly m 2S albumin is a major allergen with a high diagnostic value in

soybean-allergic children. J Allergy Clin Immunol. 2013; 132(4): 976-978

2) M Ebisawa, S Nishima, H Ohnishi, N Kondo. Pediatric allergy and immunology in Japan. Pediatric Allergy and Immunology 2013; 24(7): 704-14

3) Shimizu Y, Kishimura H, Kanno G, Nakamura A, Adachi R, Akiyama H, Watanabe K, Hara A, Ebisawa M, Saeki H. Molecular and immunological characterization of γ -component (Onc k 5), a major IgE-binding protein in chum salmon roe. Int Immunol. 2013; [Epub ahead of print]:

4) F.E.R. Simons, L.R.F. Arduoso, V. Dimov, M. Ebisawa et al. (for the World Allergy Organization) World Allergy Organization Anaphylaxis Guidelines: 2013 Update of the

Evidence Base. Int Arch Allergy Immunol. 2013;162:193-204

- 5) G.W. Canonica, (M. Ebisawa) et al. A WAO - ARIA - GA2LEN consensus document on molecular-based allergy diagnostics. WAO Journal. 2013;6:1-17
- 6) 海老澤元宏, 西間三馨, 秋山一男, ルビー・パワンカール. アナフィラキシー対策とエピペン®. アレルギー 2013; 62(2): 144-54
- 7) 海老澤元宏. 保育所(園)・学校における食物アレルギー対応. アレルギー 2013; 62(5): 540-7
- 8) 海老澤元宏. 保育所(園)・学校における食物アレルギー対応. 日本小児科学会雑誌 2013; 117(9): 1389-95

2. 学会発表

- 1) Motohiro Ebisawa : Management of food allergy , EAACI - WAO World Allergy & Asthma Congress . Milan, Italy . 2013.6.22-26
- 2) Sakura Sato : Differences among food allergens , EAACI - WAO World Allergy & Asthma Congress . Milan, Italy . 2013.6.22-26
- 3) Sato S , Kutsuwada K , Ebisawa M : Utility of allergen specific IgE measurements for supporting the diagnosis of hen's egg and cow's milk allergy , EAACI - WAO World Allergy & Asthma Congress . Milan, Italy . 2013.6.22-26
- 4) Koike Y , Sato S , Yanagida N , Iikura K , Okada Y , Ogura K , Shukuya A , Ebisawa M : 3-year follow up after rush oral immunotherapy for cow's milk-induced anaphylaxis , EAACI - WAO World Allergy & Asthma Congress . Milan, Italy . 2013.6.22-26
- 5) Okada Y , Yanagida N , Sato S , Koike Y , Ogura K , Iikura K , Imai T , Shukuya A , Ebisawa M : Is partial intake of hen's egg associated with early tolerance of hen's egg allergy? , EAACI - WAO World Allergy & Asthma Congress . Milan, Italy . 2013.6.22-26
- 6) Asami T , Yanagida N , Iikura K , Koike Y , Okada Y , Ogura K , Shukuya A , Ebisawa M : Examination of 47 cases' provocation tests with food-dependent exercise -induced anaphylaxis , EAACI - WAO World Allergy & Asthma Congress . Milan, Italy . 2013.6.22-26
- 7) Sugizaki C , Ebisawa M : Food allergy prevalence and its sensitization from infancy to 7 years old in Japan , EAACI - WAO World Allergy & Asthma Congress . Milan, Italy . 2013.6.22-26
- 8) Sakura Sato, Noriyuki Yanagida, Motohiro Ebisawa : Changes of basophil activation test by oral immunotherapy for food allergy , The 2013 KAPARD-KAAACI & West Pacific Allergy Symposium Joint International Congress . Seoul, Korea . 2013.5.10-11
- 9) Motohiro Ebisawa : Oral Immunotherapy for Food Allergy , 7th International Summit on Allergic Diseases . Beijing, China . 2013.7.27
- 10) Motohiro Ebisawa : Immunotherapy in respiratory allergy , APAPARI-AAIAT Joint Congress 2013 . Bangkok, Thailand . 2013.10.2-4
- 11) Motohiro Ebisawa : Recent advance in food allergy diagnosis , APAPARI-AAIAT Joint Congress 2013 . Bangkok, Thailand . 2013.10.2-4
- 12) Motohiro Ebisawa : Food allergen immunotherapy, can anyone develop tolerance? , APAPARI-AAIAT Joint Congress 2013 . Bangkok, Thailand . 2013.10.2-4
- 13) Motohiro Ebisawa : Use of Allergen Components: A New Era in Allergology , WAO Symposium on Immunotherapy and Biologics 2013 . Chicago, USA . 2013.12.13-14

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定も含む)
なし